

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	水戸市における市街地再開発事業による中心市街地の交流拠点の形成												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	水戸市												
計画の目標	中心市街地において、市街地再開発事業による土地の合理的かつ健全な高度利用と建物の耐震化等を進め都市機能の更新をするとともに、都市空間回遊性や防火性の向上、更には公共施設の整備など、人々が集い、にぎわう環境の創出に向け、多世代が交流する拠点の形成を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8,283	A	8,283	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	中心市街地における歩行者通行者数を4,810人(H26当初)から約5,600人(H33年:事業完了後)に増加させる 中心市街地(泉町地区)における歩行者通行者数を計測する。	H26当初 4810人/日	人/日	H33:事業完了後 5600人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	水戸市	間接	泉町1丁目 北地区市街 地再開発組 合	-	-	泉町1丁目北地区第一種 市街地再開発事業	商業・業務, 公益施設等 A= 1.4ha	水戸市						8,277	-	
	A13-002	市街地	一般	水戸市	直接	水戸市	-	-	泉町1丁目北地区暮らし ・にぎわい再生事業	新市民会館 延べ面積A=約22 ,800㎡	水戸市						6	-	
	A13-003	市街地	一般	水戸市	直接	水戸市	-	-	泉町1丁目北地区暮らし ・にぎわい再生事業	新市民会館 延べ面積A=約22 ,800㎡	水戸市						0	-	
												小計						8,283	
												合計						8,283	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 水戸市において事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年11月
	公表の方法 水戸市ホームページに公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業完了前のため確認できない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	事業完了前のため確認できない。
特記事項（今後の方針等）	
<p>本整備計画においては、設計及び解体工事の遅れなどの影響により、泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業に遅延が生じ、計画期間内での事業完了に至らなかった。</p> <p>市街地再開発事業を推進することにより、中心市街地における歩行者通行者数の増加などの効果が期待できることから、3期計画として「水戸市における市街地再開発事業による中心市街地の交流拠点の形成」を策定し、継続して事業を推進しており、引き続き事業に取り組んでいく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中心市街地（泉町地区）における歩行者通行者数	
	最終目標値	5600人 / 日
	最終実績値	3781人 / 日
		新型コロナウイルス感染症の影響による歩行者通行者数の減少及び新市民開館が開館前の評価であるため。